



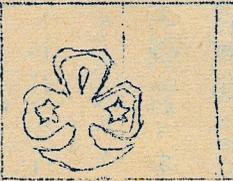
世界連盟に正式加盟

白井七久子

私達日本のガールスカウトは
一九五二年 世界連盟の準
会員国として加盟し、今日迄
その歩みを続け、参りまし
た。この五月ギリシヤに於
て、ガールガイド、ガールスカウト
世界会議の席上、日本の
世界連盟正加盟国が認め
られる事に成りました。
私達口又一步大きく前進す
るのです。

同年以後には日本に於て国
際会議が開かれる事もな
れません。又、アフリカの
様々国際的の運物なども

に行かなくてはな
せん。日本で国際イ
ンターが開かれる
水は公平に扱って
これからは、
私達口世界の中
ガールスカウト
ガイドが
締結
以来十
アフリカ
実奉仕
従順



一意味を
全員の義務を果し
一層友情を細かにし
国際的に行こうとい
あります。

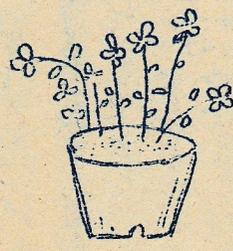
日常着の信仰

飯 請

或る北政の哲学者が二人のこととて
 言ふに「期待とは鐵も汚臭もほ
 い真新の晴着の様なものだ。身
 体に余り不着心でかよかほ着るま
 で判らぬ。想い出とは前に好きだつた
 百の晴着のまよひもりだ。懐しいけれ
 ど今は小さくはて着る事が出来な
 したかに 若人は未来に夢を画つてゐるし
 老人は過去を想い出して 来しんでいま
 手付け小ども 青年が胸をふくらませる
 期待や 年寄りがその中に浸る思い出
 の甘さは、美しくはあつても、それは一時
 のほかひの幸福に過ぎません。今の時代
 は決してそのように甘くも美しくも
 ありません。厳しい現代の生活は二人は
 期待や思い出の晴着をいつも無慘に
 引手裂いてしまふんです。
 と云つて「信仰」とはよど行きの晴着と
 はないのです。一生に一度だけ着て

後ほタニスとの奥に納め込
 小ころ花嫁衣裳や、お花見
 や、バレーや、ゴートの時にだけ
 着る「よど行き」の着物のよう
 な信仰は全く意味が及びません。
 信仰とは日常朝も晩も毎
 日家で着る小ころ「ふだん着」
 だけけはなりません。何度洗
 濯しても少々乱暴に扱つても破
 小たりほつたり「はい、丈夫な
 木綿の仕事着や労働服のよ
 うなものです。ラジオのまねをして
 コマーシャルメッセジを一寸拝借
 すれば「破れ下よじれず 鞣に
 ならず 安くて 丈夫な ビビロンの学
 生服」とも言つたものでしょうか。
 「よど行き」のあいや水をーた、
 お嬢さんは一とやがでスラックスを
 けばあてへばになると言ふ風に
 たしかに着物が変わると気分
 も行動も変わつて来ることけあり
 ます。
 しかし、ガールスカウトの制服を

脱げば、おんなは、ことほ皆志水で、
 人々を振りつけて、自分だけの
 利益を考へ、だらしない生活を
 送つてゐる人があれば、それは決して
 Gの精神を身につけてゐない。
 言わばニセスカウト。だから、制
 服も矢張りよど行きの晴着
 だけなくて、ふだん着のものを。
 どうかふだん着のスカウト制服を
 心にまとして、よど行きでない、ふだ
 ん着の信仰で、教会にいつもま
 て欲しいと思つます。



入団式・卒業式

四月二日(土) 午後二時より階下講堂に於て上級・G.S.・テラウニーの入団式及び卒業式が行なわれ、G.S.には二名の入団者があり一〇名が卒業して上級に入団した。十数名の父兄の出席がみられ、式の後には父兄会が催された。

古い友も忘れず、

—— 卒業生紹介 ——

- 井出 千恵子 東京女子高二
- 大友 晶子 東京女子館高二
- 柴崎 和枝 山脇学園高二
- 芝山 悦子 学習院高二
- 豊原 純子 東洋英和高二
- 畑中 利子 東京女子館高二
- 福井 玲子 嘉悦女子高二
- 城越 純代 女学館高二
- 三好 南津 東京女子館高二
- 山本 とも子 東京女子館高二

行事予定

- 五月三日 バスピクニック
- 五月七日 野外料理
- 五月二十日 国連加盟記念ラリー



編集後記

しばらくお休みして、久しぶりになりました。二小からは一月あきりに、さち人と発行したいと思います。今日までの時間がありませんでした。ヤ、とのこと。さち君にさちつきました。

原こう 募集



DREAM

編集者 G.S. 東京第四回
 発行所 白井五ノ子 出版部
 発行所 東京都港区
 五坂 堂前坂町
 発行日 五月七日